

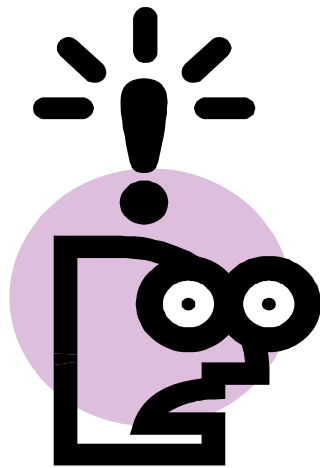
# 最新切抜きトピックス



## ①配り方進化中 欲しくなる「お試し」

【日経MJ 07. 4. 13】

消費者に商品を無料で使ってもらい、クチコミ効果を狙う試供品マーケティングが進化している。サンプルだけを集めた店や自動配布機の計画が浮上、インターネット上で疑似通貨と交換するサイトも盛況だ。大量散布ではなく、狙った消費者層に確実に届け、その反応を企業側に伝える技に磨きをかけている。試供品配布を新ビジネスに結びつける動きが加速しそうだ。



ルーク19は2カ月に1回、試供品をアピールするイベントを開催

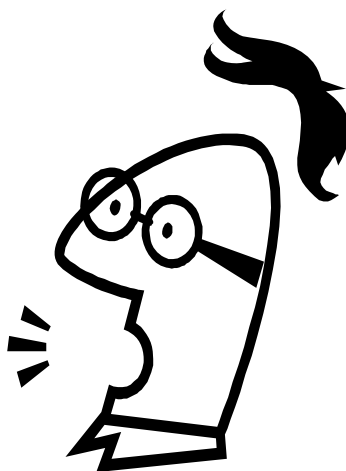
## ②安心野菜 欧州に学べ 「GAP」認証広がる

【日経MJ 07. 4. 16】

生鮮野菜や果物の安全をアピールしようと、衛生管理を徹底する取り組みが生産者の間に広がっている。欧州発の衛生管理手法「GAP(適正農業規範)」が根付き始めた。スーパーの仕入れ担当者も消費者への訴求効果を期待、熱い視線を送る。食品工場とは異なる、農場の衛生事情と最新の対策を追う。

### \* 参考

欧州小売業組合 (EUREP)は、栽培者、製品流通団体(PMO)、栽培者の協同組合、食品製造業者、そして小売業者から構成されている。欧州を拠点とする業界団体です。EUREPGAP プロトコルは、適正農業規範(GAP)の内容を定義しており、このプロトコルには、総合的穀物管理(ICM)、総合的有害生物管理(IPC)、品質マネジメントシステム(QMS)、危害分析および重要管理点(HACCP)、労働者の衛生、安全、福祉、並びに環境汚染および保安全管理などが盛り込まれています。



”タダ”と聞いて嫌いな人は、いないですよ  
商品を確認するには、当然いいことですから！  
私も、実はサンプル大好き人間です  
特に、お酒のミニチュワは……………  
お酒は、おいしいですもんね！！



農作物を前に生産者(右)と話すJGAPの指導員(茨城県銚田市)

これだけ、厳しい基準で行われれば  
安心して”食”が楽しめますよね！  
特に、子供がいると！！！！

窪野正直